

特集 水害から命を守るために! ~大和川氾濫等の水害への備え~

水害ハザードマップをご存知ですか?

水害ハザードマップは、浸水想定区域や避難場所など避難に関わる情報が掲載されているものです。いざというとき安全に避難できるよう、普段から確認しておきましょう。

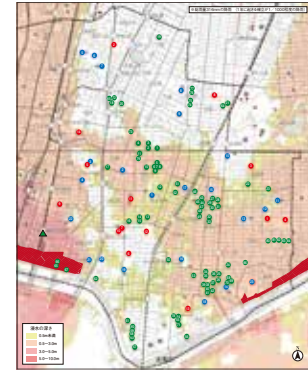
問合せ

地域課 3階 36 番窓口

☎6694-9734 FAX 6692-5535

地域ごとの“水害ハザードマップ”を全戸配付します!

大和川の水位の上昇により「大阪市が発令する避難情報」及び「避難情報が発令された場合の適切な行動」についても掲載しています。区ホームページでもご確認いただけます。



区内全域の水害ハザードマップ



水害ハザードマップには何が書いてあるの?

【地域ごとの水害ハザードマップ】(例:墨江地域)

※平成28年5月国土交通省大和川洪水浸水区域図より(総雨量316mm/12時間で想定)

各避難所及び避難場所の施設名の左側には「番号」を、右側には「浸水深」を記載しています。
※所在地は地図中の番号と一致。

災害時避難所・水害時避難ビル	浸水深	災害時避難所	浸水深
① 墨江小学校	0.1m	④ 清明学院高等学校	0.1m
② 墨江丘中学校	0.8m	⑤ 住吉武道館	1.4m
③ 市営千鉢住宅1号館	1.2m		

災害時避難所
宿泊・給食等の生活機能を提供できる施設。小・中学校など。
※水害時には開設しませんので、ご注意ください。

水害時における避難場所
水害時避難ビルを兼ねている災害時避難所。
※災害時避難所については、警戒レベルによって開設する場所が異なりますので、次ページの「避難場所の開設基準(風水害時)」を参照してください。

水害時避難ビル
洪水(河川氾濫)時の緊急的な避難先。
※水害時避難ビルは、水害から身を守るための一時的に避難する施設であり、可能な限り水害時避難ビルを兼ねている災害時避難所に避難してください。

地域の位置
区内における当該地域の位置を記載しています。

家族でやってみよう!! 防災さんぽ



水害ハザードマップは、災害が起きてから見ても間に合いません。普段から、災害時の避難場所や安全な経路を、家族で確認することが大切です。一度水害ハザードマップを見ながら、家族で避難場所まで歩いてみましょう!

STEP 1

自宅周辺の危険なエリアをチェック

STEP 2

避難先までの避難ルートを書き込む

STEP 3

実際に歩いて、避難ルートをチェック



「わが家の避難マップ」完成!!

浸水想定区域と浸水深

大和川が氾濫した場合に予想される浸水範囲と深さについて、色分けして表示。

〈浸水のめやす〉

- 0.5m未満⇒床下浸水
- 0.5~3.0m⇒1階浸水
- 3.0~5.0m⇒2階浸水
- 5.0m以上⇒3階以上浸水

浸水想定区域図	浸水深	色
0.5m未満		黄緑色
0.5~3.0m		オレンジ色
3.0~5.0m		ピンク色
5.0m以上		赤色

ご自宅の具体的な浸水想定をお調べします!

住吉区では、地域ごとの具体的な浸水想定図を使用して、ご自宅の具体的な浸水想定の高さを調べ、浸水想定がいつでも分かるように「浸水想定表示プレート」を交付しています。希望される人は、即日で交付しますので、区役所3階(36)番窓口までお越しください。



地域ごとに具体的な浸水想定図があります。

たとえばこの地点は

2.378 m

ご自宅の具体的な浸水想定の高さを調べます。



(大きさ:縦5cm×横20cm)

浸水想定の高さを記載した表示プレートを交付します。ご自宅の玄関前に貼るなど、ご活用ください。

電柱や広報板にも掲示しています!

浸水想定表示プレートは、一部電柱や広報板にも貼付しています。自宅周辺を確認してみましょう。

電柱



広報板

